

町村新報

發行日 每月二回 十五日廿日
 編輯兼印刷發行所 酒井秀吉
 發行所 福島縣石城郡磐城町大字
 下湯長谷善三十八番地
 町村新報社
 定價 一月金十錢
 三月金三十錢
 半年金六十錢
 一年金一百一十錢
 廣告料 五號活字十二字請
 一行金二十錢
 別色刷 四十錢

商業の合理化

久田 狂水

近頃は、何んでも蚊でも合であるが、目今に至つては、
 理化攻めである、そして合實に百貨店の名に反かぬ經
 理化の意味も色々ある様に營振りである、商業として
 なつた、然し何事も經費の現代適應の商業合理化を行
 節約を斗り、能率の増進收つて居る、如何に高價なも
 益の確實性を獲る事が、眞のでも、又如何に
 の合理化である、今や不景安價な小さいものでも、一
 氣は世界的である、幾ら海から十迄揃えて置く、店舗
 中に孤立して居る、我國とは美しい、品物は多い、撰
 いへども、之に超然たり得り取り勝手である、色々な
 ない、一時閉却されたと思ひ物聴く物、余興等々遊
 つた農村問題は中々盛んにび乍ら自分の要が足りるの
 論議される様になつた、寧ろ自然其處へ足が向く、買
 る此頃は商店界の不況對策ふにも澤山の品の中から自
 の聲が小さい感がある、獨由に氣兼ねなく求められる、
 り商業方面が不景氣の風に買はずに出ると平氣である
 見舞はれぬ譯でもない、都小商店より買ふに買ひよ
 市と言はず田舎と言はず、感がある、そして同じ品物
 商店もカナリの痛手を受け、其有名百貨店のマークの
 て居る、何うなり斯うなり、其有名百貨店のマークの
 食ふ丈は食へる農民より明方がよりよく思はれ、見
 日食ふ米のない、小賣商ながられる時代である、小
 どは一層悲惨なものがある、店益々壓迫を受ける事に
 このまゝ成り行きに任せるなる、其百貨店は客足を
 事は自滅に導くものである、引寄せると都合がよい、
 商人各自が大に眼醒める必れで當地方に於ては、今
 要がある、大都會にあつて處此の計畫を聞かないが平
 は、百貨店の進出が驚くべ、町邊に一大資本を以てこ
 き勢力を示して居る、昔時百貨店を經營して其實績を
 は只高價な特種的な贅澤品、擧ぐる様にすれば、儲か
 を目標として賣つて居た様、成功疑ひなしである、然し

や現代の文化人を引つけるも有利に應用する事が必要
 事は至難である、從來の營である、少しばかりのこと
 業方針は根本的に變改するに多くの人に反感を起させ
 必要がある、それこそ時代の者がよくある、小賣商の
 の尖端的な歩みをしなけれ、没曉漢に多い、繁榮を得る
 は駄目である、少し斗りの處が、却つて目に見えぬ損
 事をこそ、愚痴をコボシ失がある、店員の選擇、訓
 て居る様では問題にならない、管理は大い影響がある
 めに、一圓や二圓の端金のた、同業者や、組合、町内
 損が多くなる事を考へぬ者し、お互に合理化をはかる
 などは落伍者となる、遠い自分の店の特色の發揮に勉
 將來に否、すぐ眼のかげにめる、そして世間に知らせ
 ある、利益を知らず、顧る、眼前の小利をすて、遠
 利を追ひ拂ふ様な意地汚な大な利益に着眼し、投機心
 い小賣商人の多いには、飽を一掃する、營業上故障を
 れざるを得ない場合がある、なるものは一切除去して忠
 それで眞に商業の合理化を實に業務を精勵する、資金
 行ふには、商品の單一化での運用を安全にし、純益の
 ある、満足に出来ない百貨増加を計り、營業の安心を
 店式の營業は不可である、主眼とすべきである、かく
 一体に日本人は商品の複雑の如き條件を、よく守れば
 化を謀り、利益を得やうと小賣商の繁昌は期して待つ
 する癖があるが、是はこれべきであるが、茲に百貨店
 からの時代に適應しない、資の外に、強敵として存在す
 金の運用は元より販賣も仕るものに専門店と、連鎖店
 入も、經驗による統計調査がある、星會社にては各地
 が必要である、推測的な經に連鎖店を置く、之を甘く
 營はいけぬ、只賣上高を運用されると、中々容易で
 多くするに心掛けず、純益なくなる、特殊の専門店
 を増す事に注意する、店舗繁盛する、餅屋は餅屋で專
 在庫品、店員、勞力、時間、門店は又言ふに言はれぬ
 廣告等、精明に統計的能率味がある。
 廣告を上げる、一回でも資金の人間でも特種の技術者は其
 迴轉に對し研究をする、資方面に出世が早いと同じで
 金の固定と賣殘品とがいく、ある、片田舎にあつてはそ
 らでも少ない様に、絶程影響しないかも知れぬ
 對に顧客本位を死守するが、事實はそう簡單に行か
 以上、如何によい店でも、買ひよい店に行く、専門の
 中々世間に知られなくては買ひよい店に行く、専門の
 廣告を最處に吸ひつけられる、され

ば此等の方面の事も今から
 考慮の内に入れ、他人に先
 きんじられぬ様、昔からの
 仕來りに安心せず、新しい
 智識で万事、科學的に、頭
 腦を各方面に働かし、落伍
 者にならない。
 一、資本の運用、固定廻轉
 に注意する
 二、店舗を明るく便利にす
 る
 三、顧客を長く引つける
 四、店員の訓練、管理をよ
 くし、店員同士、他店
 員との折合をよくする
 五、事務、販賣、仕入等を
 組織的にする
 六、在庫品、殘品、賣上を
 よく統計的に研究する
 七、舊式觀念をすて常に時
 代の推移に着眼する事
 八、營業費の節約を合理的
 に研究實行する事
 九、各自商店の存在を認め
 しめること
 一〇、商品の特徴を世人に深
 く感銘せしむる事
 一一、一度來た顧客を永遠に
 得意とする事
 一二、是等のためには宣傳に
 對する色々な研究を要
 する

一、街頭、街頭、チラシ、
 新聞、雑誌の廣告、あ
 げれば數限がないが其
 効果をあげる研究等
 以上、幾分にも参考
 過ぎぬが、幾分にも参考
 すべき箇處があれば、幸
 ひである。

社告

本紙は愛讀者諸賢の厚き御指導と御援助の賜とを
 以て逐次大發展の榮を得て來ました。
 賀澤一君を本紙と共に御指導を願ひます。

- 主 幹 久田 狂水
 主 任 酒井 秀吉
 編輯者 七海 靜雄
 柳倉支部 水野 忠博
 社會部 鈴木 嘉吉
 記者部 御 挨 拶

今度町村新報社へ御危介になる事になりました。
 今後共宜敷御鞭撻願ひます
 湯 本 町
 賀 澤 一

從來廣告料金ト購讀料金ト同一視
 ナサレタ方ガアル様デスガ全然別テ
 スカラ今後混同視セヌ様願ヒマス

町村新報社

銘酒 清福 釀造元

鷺 米 屋 清昇

石城郡植田町
 電話植田三番